レッスン:SPA　N0.74

テーマ：創造のセルと生命のスパーク

SPA No.74 KE/00/.F8

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

前回のレッスンでは「生命の木」と呼ばれる「創造界の元型」をいかにして自分の身体に置くかについて話しました。一番上にある大きな三角形は肩の少し上に置かれ、この大きな三角形は小宇宙的に言えば現在のパーソナリティーを活性化して生かす「生」のスパークを、現在のパーソナリティーとしての人間とその源とのつながりを意味します。大宇宙的に言えば、この三角形はアウタルキーのステートにある「絶対存在」を意味し、非常にクリアーな金色の輝きを放っています。

その三角形の下の長方形は現在のパーソナリティーにとってはそれほど重要ではありません。それは人間のみならず「生それ自体」にとっても近づきがたいものです。なぜなら、その長方形のなかでは「創造界」と「現れ」のために特別な神の黙想が行われており、誰もその神の黙想のなかで自分を表現しながらそこに入ることはできないからです。

次の長方形は「生それ自体の諸世界」、つまり元型・イデア・法則・原因の諸世界を意味します。そしてそれは現在のパーソナリティーにとって非常に重要なものです。その長方形の真ん中には前に述べたように聖なるセンターがあります。それは中宇宙的に言えば私たちの太陽系にとっての「生」の源を意味するからです。そして勿論小宇宙的に言えば、それはハート（心臓）の聖なるセンターに相当します。それはその鼓動の結果として肉体を生かしています。

心臓はその鼓動をどこから得るのでしょうか？それは「生」のスパーク、「生それ自体」からです。しかし、「生」は肉体とどこでつながっているのでしょうか？何処でしょうか？それは肉体のあらゆる所からです；しかし、源と直接につながっている特定の器官があります。

過去に、サイコノエティカル体はシルバーコードによって肉体とつながっていると説明しました。このシルバーコードがつながる特定の場所があるのでしょうか？特定の場所でつながっていると信じている人もいますが、答えはノーです。シルバーコードがつながる場所は、サイコノエティカル体が肉体から出る方向に応じています。サイコノエティカル体が肉体のなかにある時には、あらゆるポイント、場所でつながっています。勿論、それを理解するのは非常に難しいことですが。もしあらゆるポイントでつながっているのなら、その体が肉体の外に出る時、いかにしてシルバーコードでつながるのでしょうか？肉体のなかにある時にはシルバーコードはありません；サイコノエティカル体がたとえ一部分でも外に出る時にのみ、シルバーコードによって肉体とつながるのです。

さて、心臓の鼓動についてですが、いかにして鼓動は生じるのでしょうか？勿論、人間はそれについて発見し、それを利用していますが、しかしそれが一体どこから来るのかを説明することはできずにいます。しかし、それは電気の放電以外のなにものでもないのです。その電気はどこから来るのでしょうか？いかにして、そしてどこから肉体に電気が来るのでしょうか？現在のパーソナリティーの他の体に電気はあるのでしょうか？私たち自身が電気の源なのでしょうか、あるいはどこかよそから来るのでしょうか？

No.2

答えはその両方です。なぜなら、私たちは電気の源であり、同時に磁気の源でもあるからです。何であれ宇宙にあるものは私達のなかにもあるのです。そして心臓の鼓動、それは電流の放電の結果です。

現在のパーソナリティーにとって、この長方形はとても重要です、特にバイブレーションが肉体のバイブレーションのなかにある時には。この長方形は非常に輝いているクリアーなホワイトピンクの光で輝いています。さて、肉体の器官のなかにはこの元型と完全に一致しないものもありますが、それはそれほど重要ではありません。なぜなら、この元型が意味するものは法則であり、人体に与えられる正確な形ではないからです。人体は「人間のイデア」とアイデンティカル（＊同一）ですが、それは「人間のイデア」の形のことではなく、「人間のイデア」を存在させ、実存させるのは法則なのです。つまり、背後には法則があるのです。

次は下向きの大きな三角形で、それは実存の諸世界における現在のパーソナリティーを示しています。そして創造の法則の元型としてのこの形があります。なぜならそれは法則、あなた自身の内側における創造の大きな法則だからです。そして今、それはあなたの諸体を再形成するようにあなたを引き寄せています。なぜなら現在のパーソナリティーの諸体は再形成する必要があるからです。そしてこの法則はその方向に向けて助けるために、それ自身のなかにあらゆる可能性を有しています。そして前にも述べたように、気づきの上昇、現在のパーソナリティーをマスターするのを助けるために現在のパーソナリティーに提供されている他のあらゆる助けはこの「創造の元型」のなかにあります。そしてこの元型は宇宙に対して、宇宙が存在し、実在するために何であれ必要なものを、そしてマインドという手段を使用して何であれ必要な現れを提供します。なぜなら、マインドはいかなる現れ、そして「生」の現れによって使用されるフォーム、形を帯びるからです。そしてこのフォームに従って、「生」がその本質を完全に現しているもの、あるいは「生」の本質を不完全に現しているものがあります。

ですから、「生命の木」は人間にとって非常に重要です…現在のパーソナリティーとしての人間であれ、あるいは「魂のセルフ・エピグノシス」としての人間であれ。勿論、「魂」にとってはすべきことは何もありません。なぜなら、「魂」は「生」の本質を完全に表現しているからです。

さて、前にこの２つの長方形のなかに他の２つのより小さな形があると述べました。１つの長方形は表現と創造のための特定の聖なる黙想が行われており、もう一つの大きな長方形は「生それ自体の諸世界」を示しています。これら２つの長方形はそれぞれ２つに分割されます。ですから、４つの小さな長方形があり、それらはどれも同じ形であり、それらはどれも素質的可能性のサイクルを提供しています。この形のなかの全てにはその目的があり、特に均衡です；それらの色はそれほど重要ではないが、均衡が重要です。幾何学的均衡はまた数学的方程式を与え、それらの方程式は不動の諸法則を示しています。勿論、私たちがそれらの法則に触れる前に、行い、言うべきことがたくさんあります。

「生それ自体」の長方形のなかには４つの三角形があります。ペアになっているのが２つあります。そして１つのペアのなかにはもう一つの三角形があり、それは現在のパーソナリティーの大きな三角形のなかにあり、それはペアになっている他の２つと同じ形です。それは「生それ自体の諸世界」の大きな長方形のなかにあるペアであり、その三角形は他の２つと同じ形です。

実存の諸世界のなかにあるこの三角形、そして小宇宙的にこの三角形の頂点にアプローチすると言うこと、それは現在のパーソナリティーが何に到達したことを意味するのでしょうか？３番目の素質的可能性のサイクルをマスターしたことであり、その瞬間から大きなミステリーが始まります。それは「ロゴスそれ自身」によって現在のパーソナリティーに向けて行われます。いわゆる「超意識のセルフ・エピグノシス」の始まりです。「火の洗礼」の始まりです。

なぜそうなのでしょうか？なぜなら、２つの三角形は同一形であり、底辺が共通だからです。それらの底辺は、現在のパーソナリティーが到達した時には、現在のパーソナリティーが自己実現に到達し、最初の磔に到達したことを意味します。さらにまた、現在のパーソナリティーはいわゆるキリスト意識に到達したことを意味します。現在のパーソナリティーは他の全ての同胞を抱きしめる等、主が現しているたくさんのことを現し始めるでしょう。

Page3

勿論、現在のパーソナリティーがマスターしたこの三角形はそのようには留まらず、下の方に留まります。そしてそこにあることで、現在のパーソナリティーは転生のサイクルを継続し、原因・結果の法則の下に留まり、その結果を被ります。なぜなら、もしこの三角形が「生成発展」と共に進むなら、現在のパーソナリティーは戻って転生のサイクルを続けることをせず、自動的に現在のパーソナリティーは「魂のセルフ・エピグノシス」として「生それ自体」のなかに同化してしまうことでしょう。言い換えれば、「永遠のパーソナリティー」のなかに入り、自動的に「永遠のパーソナリティー」は「魂のセルフ・エピグノシス」としての元来のカラーを帯びることでしょう。

ですからこのポジションは小宇宙的には前にも述べたように太陽神経叢に相当し、中宇宙的には月に相当します。勿論、もし大宇宙的に分析するなら、この「生命の木」の各ポジションは太陽系その他に相当します。そして小宇宙的に言えば、「生命の木」の一番下のポジションは肉体のクンダリーニに相当し、それは完全に聖霊の監督下にある聖なるセンターです。それはそのままにしておき、私たちは決して触れるべきではありません。なぜなら、そのセンターは物質においてのみ使用されるべきだからです。実存の諸世界の他の２つの世界においてさえその目的はありません。聖霊はこのポジションから肉体を築き、維持します。もし私たちがそれに干渉すると、全体の構造にアンアランスを生み出すことになります。

そうです、このポジションは中宇宙的には私たちの地球に相当し、特に人間が惑星である地球の諸エレメントから出来た身体を使っている間は。ですから、小宇宙的にはクンダリーニ、中宇宙的には現在のパーソナリティーが肉体を使用している間は地球を意味します。

大宇宙に戻ると、銀河のなかの太陽系はこの（＊？）ポジションであり、全体の構造があります。この構造は私たちの身体のなかにあり、この構造をまとっているのです。ですから探究者はまず初めにできるだけ詳細に創造すべきです。勿論、重要なのは形であり、今のところ詳細はそれほど重要ではありません。繰り返しますが、色はそれほど重要ではありません。なぜならあなた方各人はそれぞれの色を異なって解釈するからです。しかし誰でも形は同じであるべきです。形は解釈という部類ではなく、「生命の木」はあなた方に与えられたのと同じ形であるべきです。

それではこれからエクササイズをします。このエクササイズには一つの目的があり、それはこの形、この「創造界」の形のなかに入るのを助けることです。

この形、フォームは五芒星のようなシールドとは違います。別の目的があり、それは現在のパーソナリティーが不定形の諸体の形を再形成するのを助けることです。実際、あなた方がゆっくりとタッチしているのは「創造界それ自体」を支えている様々な法則なのです。そしてこの法則は最大のためのものであり、最小のためのもの、そして神の黙想の活動のなかの全てのもののために働いています。なぜなら、何回も述べたように、聖なる神の黙想はアウタルキーの状態であり、それは「絶対存在」のなかにあり、実際そこで活動しているのは「絶対存在」であり、それは「神」です。なぜなら、私たちは「黙想」と「黙想している人」を分けることができないからです。

レッスンSPA/74 エクササイズ１

目を閉じて静かに座り、こころを騒がせるもの全てを解き放ちます…純白に包まれている自分を見て、自分の形の境界を感じます…あなたは自分が今どこにいるかを完全に気づいています…あなたの現れの限界を意味する部屋のなかに自分がいることに完全に気づいています…人々はそれぞれ自分の部屋にいます…霧のようなものがあなたを取り囲んでいるので、あなたははっきりとクリヤーに見ることができません…霧がかかったホワイトブルーの光がありますが、もやがかかったような状態なので身体から先がよく見えず、部屋の壁がどれほど離れた所にあるのか見えません…壁が見えず、四方の壁から来る光さえも見えません…あなたは真っ直ぐに前方を見ます、このもや、霧のなかでも先が見えるように努力しています…

努力の結果、徐々に少しづつ先が見えるようになります…四方の壁からそれぞれ異なった光が部屋に放射されているのが見えてきます…しかし、今あなたの前に一つの状態があるのに気づきます、それは初めははっきり見えないのですが次第にクリアーに見えるようになり、それがフォームを伴った「創造界の元型」であることがわかり、その元型のそれぞれの部分から異なった色の輝きが出ているのが見えます…一番上の大きな三角形からは金色の光が輝いています…その下の長方形からは銀色の近づきがたい輝きが放たれており、その中には無数の様々な色のスパークがあります…

その下の長方形からは非常に明るいホワイトピンクの輝きがあります…そして、最後に下向きの大きな三角形があります…それはホワイトブルーに輝いています…これであなたの前には「創造界の元型」が完全に見えています…

今、完全な形を帯び、様々な色に輝いているフォームが目の前にはっきり見えています…このフォーム、状態はあなたから３歩離れた所にあります。

それでは右足から一歩前に進み、そのヒポスタシス（＊この場合元型のこと）に一歩近づきました…それでは次に左足から一歩前に出て、これで２フィート（＊60センチぐらい）近づいたことになります…段々近づいて今は目の前にあります…また右足から一歩前に進み、あなたは今このヒポスタシスの中に入っています…あなたは様々な色のなかにいます、大きな三角形は肩より少し上にあり、あなたの頭はこの金色の中にあります…この大きな三角形を感じます…そして次に銀色の長方形がありますが、重要なのはその下の長方形であり、それは非常にクリアーなホワイトピンクに輝き、その中心にあなたの心臓があります…あなたの心臓が脈打っているのは「生それ自身」のスパークの結果であり、それが現在のパーソナリティーを生かしめています…そして今、あなたは同時に下向きの大きな三角形のなかにいることがわかります…それは非常にクリアーなホワイトブルーに輝いています…今あなたは「創造界の元型」、つまり「創造のセル」、「創造の法則」のヒポスタシスを身にまとっています…あなたの現在のパーソナリティーの諸体が正しい形を取ることができるように、「生それ自身」の特質を完全に表現できる形になるように、この「法則」が助けてくれるように願います。

現在のパーソナリティー全体の健康を願い、アガピ、最愛のお方があなたと共に、あなたの愛する人々と共に、そして世界全体と共にあることを願います。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

終わります。

質問：あなたは前に私たちは何も知らず、ただ「生」の源からの同調だけであると言いましたが、あなたが数学的方程式について話すのはとても不可思議に思えます。あなたは非常に正確なサイズを教えるといいましたが、どういうことですか？私たちが話しているそれらの状況のなかでは意味というものはありません；宇宙は超数学的であり、私たちにとってこの手段を通じてそれを理解するのは不可能です。

Ｋ：だから私はずっと後になって、と述べたのです。科学は原子核にアンバランスを生み出すことに成功しましたが、それは数学の方程式の結果ではないでしょうか？勿論、そうです。

Ｑ：しかし、私たちはもう一つのリアリティーについて述べているのであり、科学が触れているリアリティーについて述べているのではありません。

Ｋ：創造界の全ての法則の背後に、私たちは人間の助けとなるあらゆる手段を発見することでしょう。1＋1＝２　は数学のある法則における能力ですが、それと同じように様々な法則においても能力があります。

さて、このセルにおいては、創造界の全ての法則は最大の法則から来ています。それゆえに人間は数学を使用することによって原子にアンバランスを創造する方法を発見することに成功したのです。言い換えれば、原子を「実在し、存在する」ステートに留めておくものを混乱させたのです。

勿論、人間が原子、あるいはもっと大きな構造物をそのままに維持している仕組みの詳細に触れるなら、人間の無知ゆえにそれは非常に危険なことになります。あらゆる本物の神秘家たちは科学者がスタートする前に既に原子について知っていました。勿論詳細にではありませんが、その当時知ることができたことを知っていました。なぜなら、もしあなたが最小について学ぶなら、それはまさしく最大について勉強し、学んだのと同じだからです。

Ｑ：しかし私たちが何も知り得ない領域があるとあなたは言いましたね…。

Ｋ：私たちは大宇宙的には何もわかりません。しかし中宇宙的、そして私達の実存の身体について、そしてコスモスの全構造がどのようにして機能しているのかについては知ることができます。なぜなら、最大のものを司っているものは最小をも司っているからです。たとえ経験的知識がなくても、それがどうなっているのか知ることができるのです。

もし私たちが実存の諸体をマスターするなら、その自己実現した現在のパーソナリティーは何らかの経験的知識を味わい、体験することができますが、そうしないでしょう；しかし、創造界全体に関してすらそうなっているのに疑いはありません。

それゆえに、ギリシャやエジプトの哲学の学校のモットーは「汝自身を知れ」だったのです。なぜでしょうか？ギリシャには12の神々がいて、それらは構造を意味していました。そして哲学の学校はそのフォームに従って現れを形成することを目的としていました。不幸にも、または幸いにも、私は「不幸にも」とは言いません…なぜなら彼らはまだ準備ができていなかったからです…彼らは幸いにも、どうしたらよいかを深く知らなかったのです。しかし、数人の内側から放射されていたので、そのフォームでワークをするなら他の人間達にたいして無条件の愛を人々が現すのを助けることができることを知っていたのです。それが古代ギリシャの様々な哲学の学校の目的でした。

だからこそ彼らはその時代に民主主義を発展させたのです。彼らは多くの人権を伴った文明を育てましたが、何故でしょうか？なぜなら、彼らは多くではありませんが、いくらかこのフォーム、構造について知っていたからです。少数の人々の信仰は一神教であり、彼らは一なる神を信じていたのです。

それゆえにエレウシスの秘儀の生徒であり、サイコノエティカルの高いレベルに到達した聖ピリポ（＊イエスの12使徒の一人）は、イエスが教え始めた時にイエスを尋ねたのですが、ギリシャ人達が敬意を表するために来たとイエスに伝えた時、イエスはその男の名前は褒め称えられる、と述べたのです。何故でしょうか？なぜなら、聖ピリポたちはギリシャの哲学の学校を代表していたからです。

Page6

最初にイエス・キリストに挨拶に来たのは三賢人として誕生の時に訪れたペルシャ、イラン、そしてインドの哲学の学校の代表者たちでした。２番目にイエスに表敬するために訪れたのはエジプトの様々な高僧たちで、それはイエスが12歳になるまで守るためにエジプトの寺院に連れていかれた時のことでした。３番目はギリシャ人たちで、それによって「霊的な人」の三角形が完成したのです。

しかし、その三角形の中心は偶然ではありませんでした。イエス・キリストはその中心で生まれたのです。なぜなら、その中心は既にモーゼによって準備されていたからです。ユダヤ人たちは最後に準備されたのです…何千年も前にエジプト人、ペルシャ人、そしてインド人たちはすでにモーゼよりもかなり前に人類のために教えていたのです。

Q：あなたは肉体はあらゆる所から生のスパークによって活性化されると言いましたが、それは私にとっては各細胞は同じ絶対知性を分かち合うことを意味します。しかしあなたはまた直接につながっている器官がある、と言いましたね。私にはそれが理解できません。

K:そうです。例えば心臓を例に取りましょう。心臓の鼓動は電気、電流のスパークの結果です。この電流、電圧は計測可能です。電圧に関してはもしアンペアが高ければ害になります。さてこの電圧はどこから来るのでしょうか？物質として肉体から来るのでしょうか？答えはノーです。それは「生それ自身」から肉体に与えられるのです。誰がそれをコントロールするのでしょうか？サイコノエティカル体ですか？違います。それはサイコノエティカル体さえも活性化するそのスパークです。このスパーク、それは原因・結果の法則とつながっているのですが、そのスパークがその法則と連携して、この現在のパーソナリティーはもはや肉体に留まってもなんの役にも立たないと決断すると、心臓の鼓動は止まります。

Ｑ：それではスパークにはこの電気があると言うのですか？

Ｋ：そうです。それはスパークによって与えられます。セラピーの時に何が起こりますか？たくさんの電気、放電としてたくさんのエネルギーがあります、特に非物質化の時に。誰が非物質化を行うのでしょうか？肉体ですか？サイコノエティカル体ですか？違います。サイコノエティカル体はそれを通じてこのワークが行われる手段です。それゆえにこそ、スピリチュアル・ヒーリングを行っている時には、誰も誰それが行っていると主張することはできないのです。なぜなら、それを行っている最中にたくさんの電気、５万、６万、10万ボルトという電気放電が継続的に続きます。もしヒーラーがグラウンディングしていなかったら、骨が互いを溶かしてしまうことでしょう。非常に多くの電気があります。なぜなら、エネルギーの流れが電気となり、同時に磁気が生み出されます。なぜなら、もしあなたがその時に自分の肉体の手を使うなら、その時この電気の流れが骨を通っているからです。

勿論、常に静電気がありますがそれは全く別問題です。私達の肉体には常に静電気がありますが、私はそれについて述べているのではありません。動きがある所にはまた電気があります。そうです、肉体にもそれ自身の電気があります。なぜなら、全ての細胞、全ての原子の中には動き、活動があるからです。しかし、それは別の事柄であり、私はそれについて述べているのではありません。私たちは現在のパーソナリティーと肉体をつなぐ電気について話しているのです。それによって肉体は機能し、生きていることができます。

Page7

Ｑ：電気を使うこれら様々な全てのセラピーは効果があるのですか？

Ｋ：そうです。特にやせるためのこの器具は効果があります。それらは脂肪を燃焼させます。様々な病気に用いる他の器具もあります。それらの器具は何をしているのでしょうか？それらは“戦っています”、色々な細胞、病気の細胞などとです。なぜなら、先ほど述べたように全ての細胞には動き、活動があるので電気があります。核の回りを電子が回っていれば、そこには電気が生じます。そしてもし流れが生じれば、様々な原子や細胞の電子が特定の方向、動きを取ります。もしＸ線の下に電気伝導体を置き、それを電気とつなげれば電子が動くのが見られます。しかしそれらは核には触れません。なぜなら核が電気的流れによって邪魔されるということは不可能だからです。原子核をそのようにするのは「法則」であり、核ではありません。

Ｑ：あなたはシルバーコードについて述べたことがありますが、それについて説明してくれますか？

Ｋ：シルバーコードとはサイコノエティカル体と肉体をつなぐものです。しかし、そのようにする原因、それは「生それ自体」です。「生」はなにを命じるのでしょうか？サイコノエティカル体は現在のパーソナリティーの現れの体であり、それは現在のパーソナリティーです。しかし現在のパーソナリティーが存在し、実在するということ、それはそれを活性化するスパークの結果です。その目的は現れをスパークと一致させることです。現在のパーソナリティーがその不定形の諸体を再形成したとき、つまり自己実現に到達したとき初めて、スパークはそれ自身を完全に現すようになるでしょう。シルバーコードが切れるということは、その現在のパーソナリティーはもはや肉体を必要としないということを意味します。

EREVNA SPA74/KE2000/F8